

社会資本総合整備計画

〔鹿児島市における都市公園の整備推進と安全安心化（第2期）〕

事後評価シート

補 足 説 明 資 料

（鹿児島県 鹿児島市）

○本計画の成果目標について

計画の成果目標（定量的指標）

・都市公園施設の再整備率

社会資本総合整備計画 事後評価書	
計画の名称	鹿児島市における都市公園の整備推進と安全安心化（第2期）
計画の期間	平成31年度～令和3年度（3年間）
計画の目標	鹿児島市における都市公園は、住民の多様なニーズに対応した公園の整備が必要であり、高齢者や いる。 本計画では、トイレ等のバリアフリー化や公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築を実施す 備を推進する。

計画の成果目標（定量的指標）	・都市公園におけるトイレ等のバリアフリー化や老朽化した公園施設の改築等による再整備率を24%（平成31年度当初）から25%（令和3年度末）に増加
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値	備考						
都市公園の公園施設改築等の状況をもとに算出する。 （都市公園施設の再整備率）＝（公園施設の改築等を行った公園数）／（平成31年4月1日現在で開設している公園数）（％）	<table border="1"> <tr> <th>当初現況値 (H31当初)</th> <th>中間目標値 (R2末)</th> <th>最終目標値 (R3末)</th> </tr> <tr> <td>24%</td> <td>-</td> <td>25%</td> </tr> </table>	当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R3末)	24%	-	25%	
当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R3末)						
24%	-	25%						
全体事業費	209,000円	0,000円						

定量的指標の定義及び算定式

定 義：都市公園の公園施設改築等の状況

算定式：都市公園施設の再整備率（％）

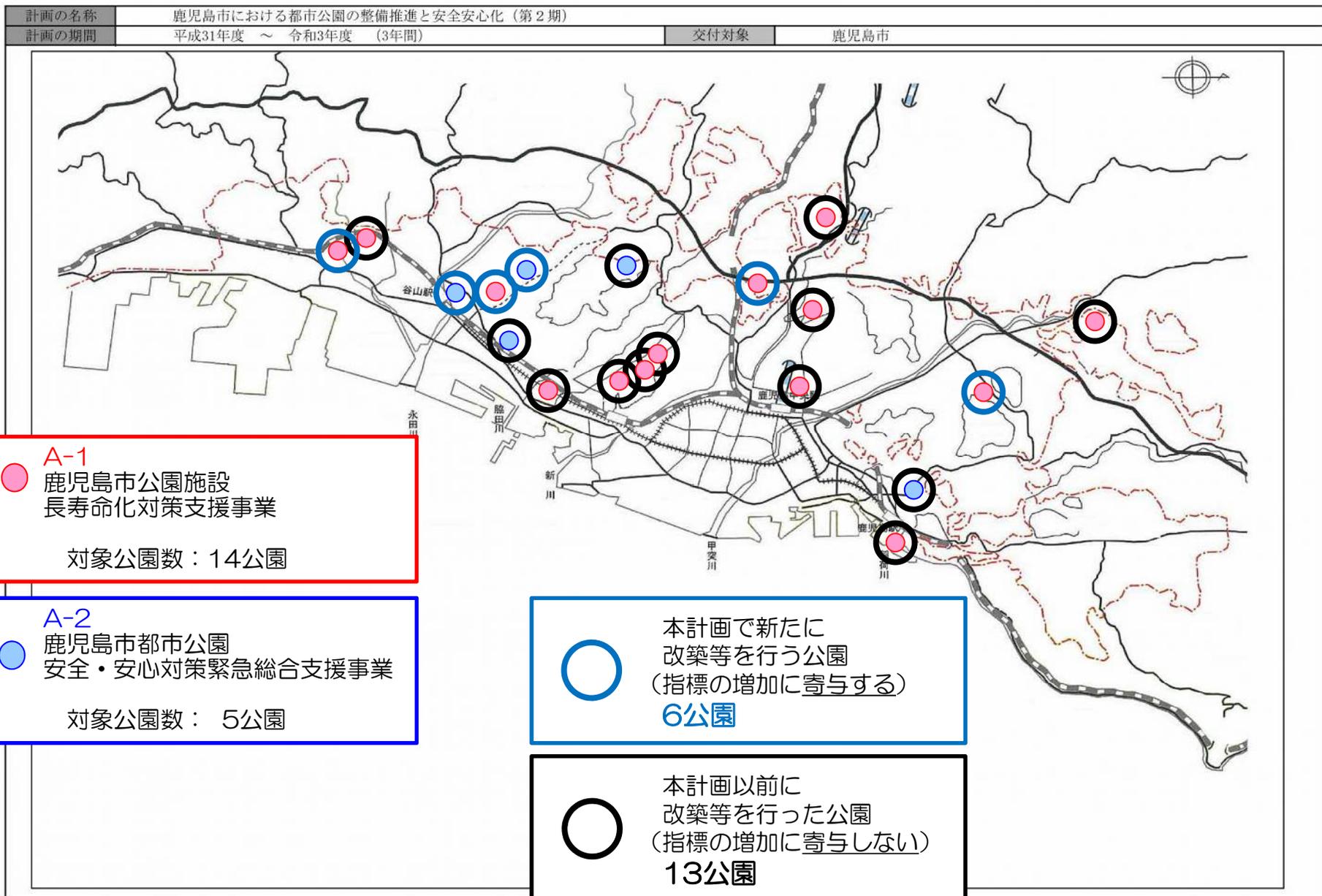
定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H31当初)	最終目標値 (R3末)
24%	25%

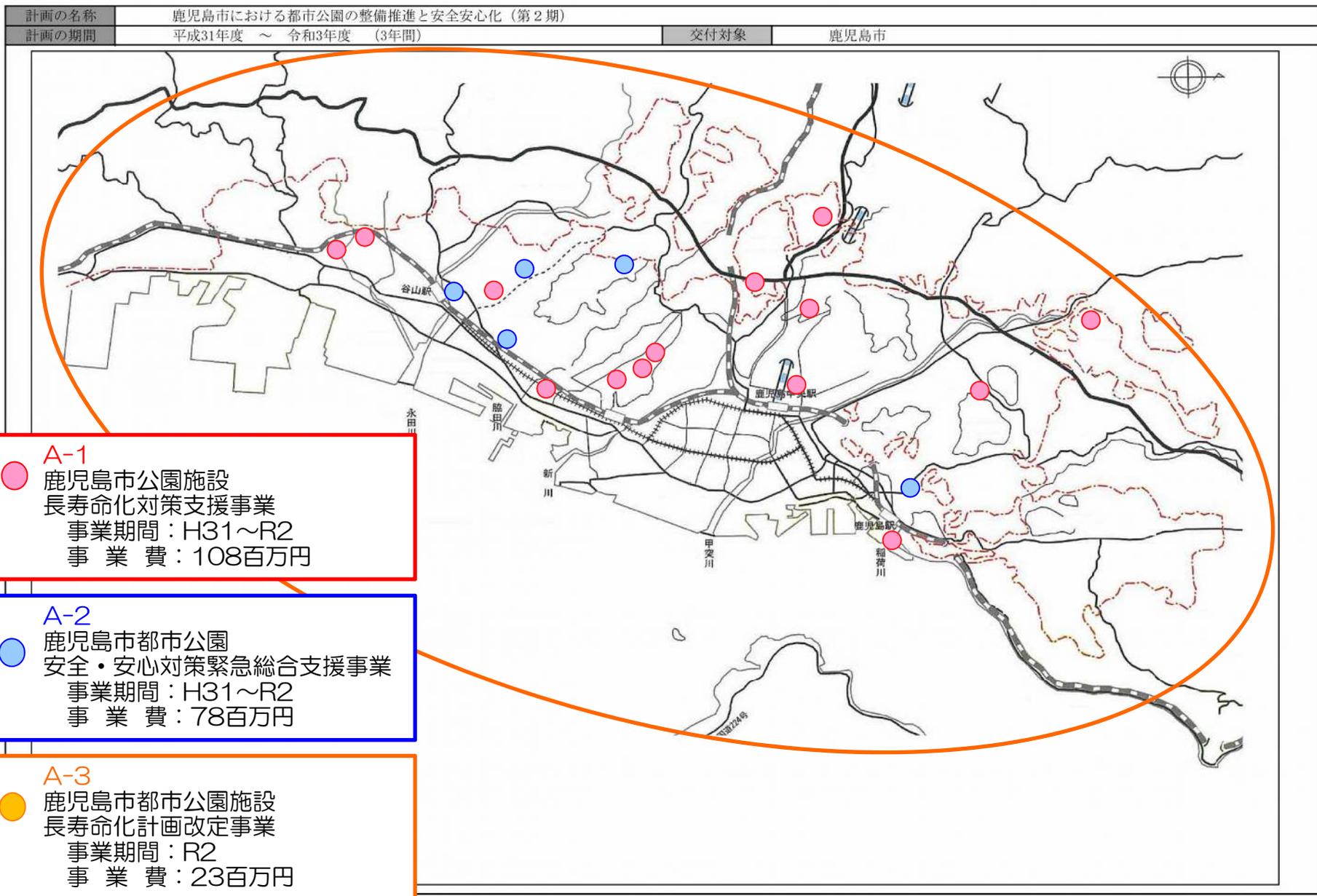
$$= \frac{\text{（公園施設の改築等を行った公園数）}}{\text{（平成31年4月1日現在で開設している公園数）}}$$

当初現況値 (H31当初)	24%	163	÷ 666	H31.3.31以前に 改築等を行った公園数 H31.4.1時点の 開設公園数	163 666
最終目標値 (R3末)	25%	(163 + 6)	÷ 666	本整備計画で新たに 改築等を行う公園数	6

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



○本計画で実施された事業について

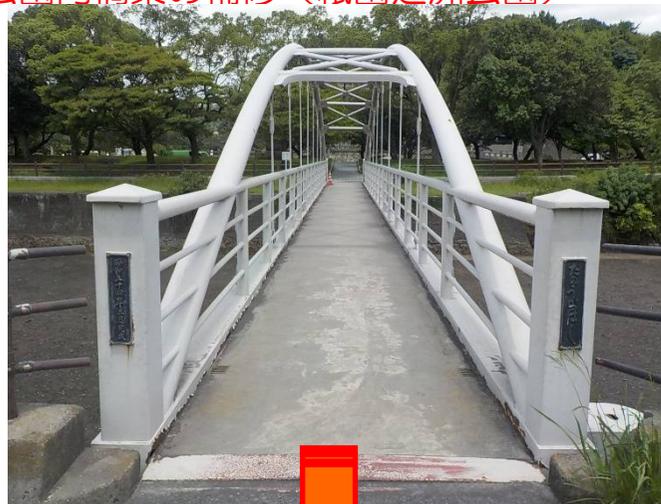


A-1 鹿児島市公園施設長寿命化対策支援事業

遊具等の改築・更新（紫原南公園等13公園）



公園内橋梁の補修（祇園之洲公園）



A-2 鹿児島市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業

トイレ等のバリアフリー化（高見公園等4公園）



法面の豪雨対策（南洲公園）



A-3 鹿児島市都市公園施設長寿命化計画改定事業



鹿児島市公園施設長寿命化計画の策定

- 対象公園数：223公園
- 対象施設数：5,939施設
- 計画期間：令和3～12年度

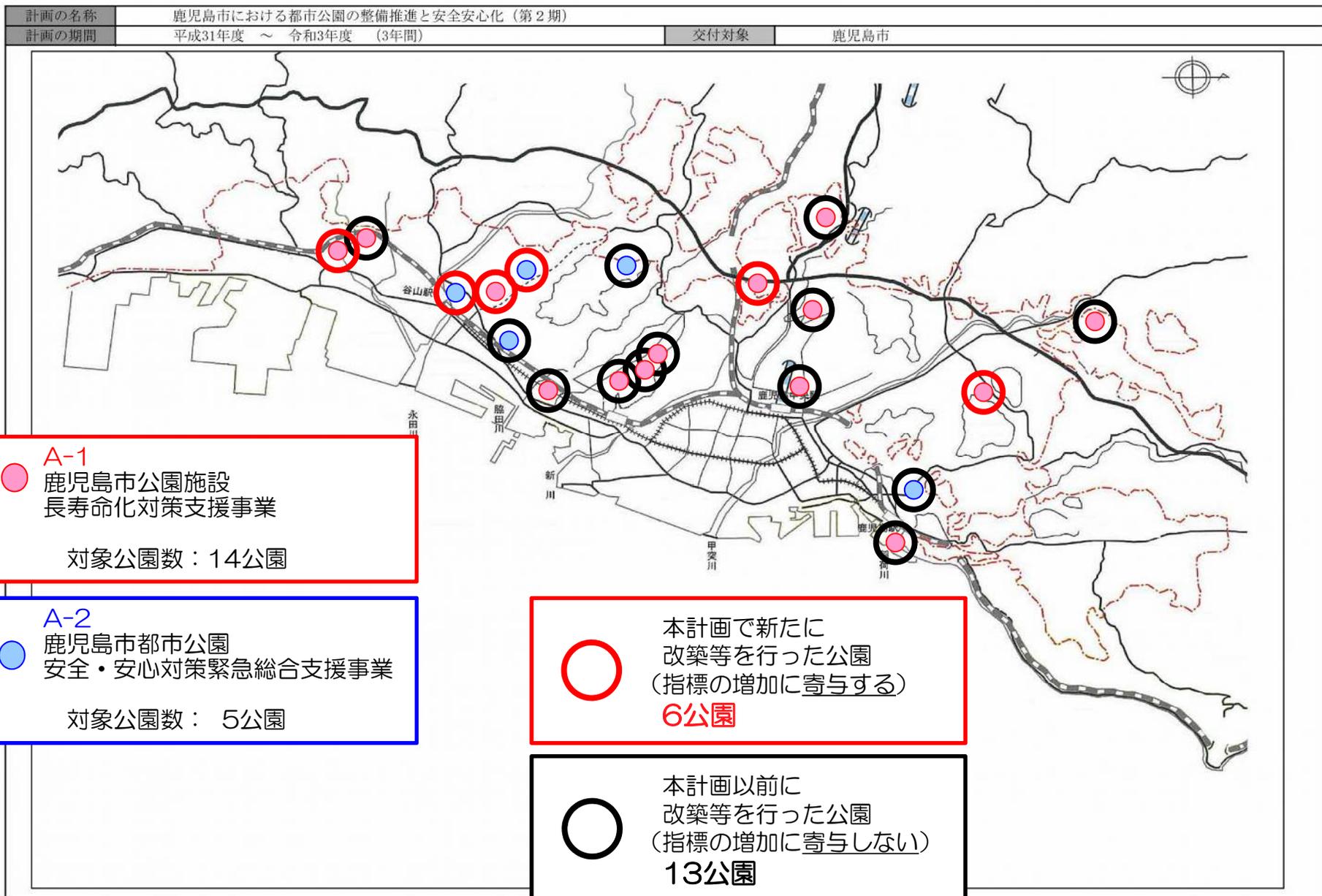


H25に策定した公園施設長寿命化計画の対象公園	220公園
R2の見直しに伴い追加した公園	12公園 ※1
R2の見直しに伴い除外した公園	9公園 ※2
R2に策定した公園施設長寿命化計画の対象公園	223公園

※1：H25の策定時以降に新設やリニューアルが行われた公園

※2：遊具、トイレがない公園や借上げ公園

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



○成果目標に対する達成状況について

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況			
I	定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	・都市公園におけるトイレ等のバリアフリー化や老朽化した公園施設の改築等を行った結果、都市公園施設の再整備率が増加し、公園の安全・安心が確保されたことにより、高齢者や障がい者等を含む多くの市民にとって利用しやすい公園の整備が図られた。	
II	定量的指標の達成状況	都市公園における園路・トイレ等のバリアフリー化や老朽化した公園施設の改築等による再整備率	最終目標値
			実績値
III	定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画(計画期間: R3~12、対象公園数: 223)を新たに策定した。このことにより、公園施設の計画的な維持管理及びライフサイクルコストの削減が期待できる。 定量的指標は、H31年度当初時点の開設公園数666を対象とした再整備率であるが、達成状況の補足として、公園施設長寿命化計画(H25策定)の対象の220公園の再整備率では、52.3%から55.0%に増加した。 	

II 定量的指標の達成状況

指標 都市公園施設の再整備率 (%)

目標値を達成

(公園施設の改築等を行った公園数) / (平成31年4月1日現在で開設している公園数)

当初現況値 (H31当初)	24%	163	÷ 666	H31.3.31以前に 改築等を行った公園数 H31.4.1時点の 開設公園数	163 666
最終目標値 (R3末)	25%	(163 + 6)	÷ 666	本整備計画で新たに 改築等を行う公園数	6
実績値 (R3.12.1現在)	25%	(163 + 6)	÷ 666	本整備計画で新たに 改築等を行った公園数	6

○成果目標に対する達成状況について

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		・都市公園におけるトイレ等のバリアフリー化や老朽化した公園施設の改築等を行った結果、都市公園施設の再整備率が増加し、公園の安全・安心が確保されたことにより、高齢者や障がい者等を含む多くの市民にとって利用しやすい公園の整備が図られた。		
II 定量的指標の達成状況	都市公園における園路・トイレ等のバリアフリー化や老朽化した公園施設の改築等による再整備率	最終目標値	25%	目標値と実績値に差が出た要因
		実績値	25%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画の見直しに伴う各公園施設の健全度調査により、現在の施設の劣化状況等を把握することができ、これらの調査結果を踏まえて、より実効性の高い計画（計画期間：R3～12、対象公園数：223）を新たに策定した。このことにより、公園施設の計画的な維持管理及びライフサイクルコストの削減が期待できる。 定量的指標は、H31年度当初時点の開設公園数666を対象とした再整備率であるが、達成状況の補足として、公園施設長寿命化計画（H25策定）の対象の220公園の再整備率では、52.3%から55.0%に増加した。 		

○ 特記事項（今後の方針等）
 今後も引き続き、公園施設のバリアフリー化や、長寿命化計画に基づく施設の改築を実施することにより、公園施設に係るライフサイクルコストの低減を図るとともに、利用者の安全・安心を確保し、より多くの市民が利用しやすい公園づくりを推進する。

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況

公園施設長寿命化計画の対象公園における都市公園施設の再整備率（%）

（公園施設の改築等を行った公園数） / （平成25年度公園施設長寿命化計画の対象公園数）

当初現況値 (H31当初)	52.3%	115	÷ 220	H31.3.31以前に 改築等を行った公園数 115 H25策定の公園施設 長寿命化計画の対象公園数 220
実績値 (R3.12.1現在)	55.0%	(115 + 6)	÷ 220	本整備計画で新たに 改築等を行った公園数 6 本整備計画終了時点における 改築等を行った公園数 121